

東郷元帥記念公園 第12回協議会 議事要旨

1. 開会(区)
2. 挨拶(区:環境まちづくり部部长)
3. 会長の挨拶
4. 議事
 - (1) 前回の議事要旨について(区)
 - (2) 東郷元帥記念公園の改修整備について(コンサル)
 - (4) 遊具の計画について(コンサル)
 - (5) 意見交換
5. その他(区)
6. 閉会(区)

<意見交換>

会長

- ・皆さんからご質問、ご意見をお願いしたい。

参加者

- ・桜の移植をするという表示があるが、これは公園の桜を移植するのか、ほかを持ってくるのか。

事務局

- ・公園内での移植を考えており、現在の九段小学校のプールの入り口付近にある2本を、このピンクの位置に移植するというふうに考えている。

委員

- ・丸太の上のところを、丸のままだと登った時にちょっと危なかったりするので、そこを削って平らにしていると、平均台みたいに使えるので、工夫して欲しい。

事務局

- ・実際使う樹木をこれから工事に入っていく中で選んでいくことになる。上の平らな部分については、使い方も考慮したい。

会長

- ・石材については、東郷邸の庭にあったはずの石を上段に持ってくる。歴史性もあり、買ってくる石ではない。

委員

- ・保育園としても有難いが、自然のものはどうしてもメンテナンスが必要になってくるので、その辺も考えて欲しい。

事務局

- ・木材はきちんと防腐処理を施し、20年くらいは腐らずにもつという実績のものを使う。ふしやささくれ等は、まず入れる段階で細かなところはちゃんと処理したうえで設置をする予定である。

会長

- ・石材については、今中段の斜面の上に置いてある、東郷邸の庭にあった歴史性のある石を上段に持ってくる。

委員

- ・スーパーノバについて、小学生未満の子どもたちが遊ぶことも考えられるが、危険性はどのように考えているか。

事務局

- ・小さな子が乗っている場合というのは、見受けられる。大きな子と一緒に遊ぶということになると、小さい子が力負けしてしまうというケースは確かにある。
- ・ゾーン分けやサインの掲出等をし、一緒に使うということをできるだけ分けていくことで対応する。

事務局

- ・江東区の豊洲公園の事例を見たが、さつとは回らず、安全に遊んでいた。この状況を確認し、子供たちは楽しんでもらえるのではないかとということで提案した。

委員

- ・絵で立っている男の子がいるが、これは立ってそのうえで遊んで良いものか。

事務局

- ・遊具自体は立って遊ぼう、座って遊ぼうという決まりがあるということではなく、回っている時に立ってそこを走るという子もいる。

委員

- ・耐用年数はどのくらいを考えているのか。

事務局

- ・10年経った実績しかないが、錆びたりして、腐食して折れる等は一切ない。また、少なくともヨーロッパの安全基準を満たしており、接続部分に関しても耐用年数は高い。

委員

- ・揺れるような機能があるが、どのような素材を使っているか。

事務局

- ・揺れる部分は、ワイヤーが入っているロープで作られている。それが2つのタワーの間に固定されている。

委員

- ・耐用年数はどの程度か。

事務局

- ・使用頻度にもよるが、可動域の部分の交換としては、目安としては3年から5年と言われている。
- ・基本的に、区(管理者)で1年に1回専門業者による遊具点検を行っている。そこで不備があるもの、危険なものは点検に応じて補修なり、あるいは場合によっては撤去等を行っている。

委員

- ・世界的に新しいか。

事務局

- ・この遊具のシリーズに関してはもう10年くらい前から開発されている。実績も、世界各地である遊具なので、実証はできている。

委員

- ・遊具についても、1年に1回のチェック、検査というような簡単なルールではなく、しっかり考えて欲しい。

会長

- ・管理をすべて行政に任せるのではなく、利用者もご協力いただいて、もし危ないものがあつたら危ないと言っていただきたい。

参加者

- ・わたり橋とお腹ひねりとあしのばしの3つが高齢者のための遊具ということになるのか。

事務局

- ・今回は資料上3つだけ出ているが、公園全体としては、わたり橋、お腹ひねり、あしのばし、脇腹のばし、背伸ばしベンチ、ぶらさがりと、全部で6つ残すかたちとなっている。

会長

- ・機能を確認し、機能を減らさない範囲でどれだけ合理的にできるかということで議論した経緯がある。区のほうでもきちんと高齢者用のものについて残すようにという担当部署の要請があつたので、残すことにした。

委員

- ・回転遊具について、どこが回るのか。

事務局

- ・支柱より上部の部分のみ回る。

委員

- ・回っている部分と可動しない部分があるが、問題が起きないのか。

事務局

- ・ジョイント部は、隙間に指が入らない。3mmくらいの隙間しかない。挟まってしまうことはない。

委員

- ・今ここでOKでてしまって、もう決まっちゃうという話か。

会長

- ・これまでの議論と同様、ここで決めましたと言っても、まだ確定ではない。今後検討する。
- ・スーパーノバについては、仮に入れるというふうにしたとしても、やはりこれは見に行ってくださいということで最終決定にしたいと思っている。
- ・模型を確認し、遊具が占めている感じ(ボリューム感)を見ていただきたい。

委員

- ・色彩はどのような計画か。

事務局

- ・指し色は緑、赤等の色が入っている。基本のところは鋼材の、ステンレスとかのきらつとしたものや、溶融亜鉛メッキのスチールの素材感みたいなものと、グレーの樹脂板みたいなもので、結構地味に作られている。

委員

- ・要塞みたいな感じで、圧迫感がある。

事務局

- ・圧迫感まではいかないが、カラフルというようなタイプの遊具ではない。

委員

- ・何回か前に遊具の熱がちょっと話題になった。

事務局

- ・滑り台については、全部樹脂製の、PE 素材、ポリエチレンの素材でできている。ずっと日に当たるといって、確かに、相当熱くなるということは今の温暖化の中では傾向としてあるが、ビルや植栽の陰になったりすることでいくらか軽減できる。

会長

- ・金属に触った瞬間にやけどということは基本的に無い。

委員

- ・ネットの遊具で、縄跳びが滑り台で巻き付いてしまった子がいるので、気を付ける必要がある。

事務局

- ・基本的には遊具の安全に関する基準があり、ひもが引っかからないような V 字のスリットを作らない等が基準として整備されている。なお、今回の遊具はヨーロッパの遊具に関する安全基準 EN1176 と日本の JPFA という基準に適合している。

参加者

- ・子どもの意見として、B 案の大きいほうも魅力的だが、飽きた時に 3 種類あったほうが良いという話をしていた。
- ・3 種類のうちどれか一つがあまり良くない等の意見があった場合に、後で予算を組んでそれだけを変えることはできないか。大きなものを一つというよりは小さなものの方がユーザーの意見があった場合に換えやすいのではないか。

会長

- ・その可能性はないとは言えない。

委員

- ・男の子はちょっと危険な感じがするもののほうが良い。

委員

- ・乳幼児が 1 歳から 4 歳まで、6 歳以上がこういう遊具使う。4 歳から 5 歳というのはないのか。

事務局

- ・基本的には重複していくような感じで、後はブランコ等で間を埋めていく。6 歳じゃないと遊べないということではなく、4 歳でも実際遊んでいる子はたくさんいる。

委員

- ・個人的には A 案が良いと考えている。B だと、毎日毎日同じような遊びしかできない。
- ・豊洲公園では、どんなものが子どもたちに人気があったのか教えていただきたい。

事務局

- ・回転遊具の他に、複合遊具や築山、ロッキングダック等もあり、かなり賑わっている様子は見て取れた。

委員

- ・保育園の年齢層が幅広く、B 案だと、出入り口が多く、保育を見守る時にどこを見ていいかわからない。A 案は目が行き届きやすいので、A 案のほうが良い。

参加者

- ・ちょっと飽きやすい部分があり、私も A 案が良い。現状は飽きちゃうので、いろいろな公園にいつている。

委員

- ・A 案が良いと思っているが、回転遊具はなしが良い。小学生の子どもは、保護者の方がついて遊ぶということがなく、怪我して連絡が来ることが考えられる。

会長

- ・校長先生のご意見、非常に共感をするが、もうワンチャンスいただきたい。すべて子どもたちに対して安全な環境を提供するということが遊びではない。
- ・ぜひこの 2～3 か月くらいで、豊洲公園の事例を見て欲しい。
- ・方向性としては、多様性があるほうが良いんじゃないかとうようなご意見が多かったので、基本的には A 案に近いあたりで検討を進めさせていただきたい。

委員

- ・写真では、遊具の下に木チップのようなものが敷いているが、東郷公園もそうなるのか。

事務局

- ・乳幼児ゾーンについては、固い樹脂で固めた木チップ舗装、児童ゾーンについては、遊具からの落下する高さに合わせてゴムチップ舗装を考えている。

委員

- ・回転遊具に代わる遊具はあるのか。

事務局

- ・回転遊具にもいくつか種類がある。回転しないものもある。
- ・スーパーノバの事例について、2016 年の 4 月に品川区の東品川公園という所にも比較的新しく導入したスーパーノバが入っている。どういうふうに遊んでいるのか見ていただきたい。

委員

- ・改修工事について、下段は小学校の開校までに間に合うということで良いか。

事務局

- ・下段は小学校の開校までに間に合わせる予定である。
- ・安全を確保することを最優先で、これは一つの条件ということで、それを踏まえた計画を立てる予定である。

会長

- ・だいたいご意見を頂いたので、まとめに入りたい。

① 乳幼児エリアについては、丸太を使う遊具の上面を平らにするとか、あるいはメンテについて配慮をいただ

きたいという意見があった。

- ② 児童エリアについては、遊具の多様性を確保する方向でということでご意見が多かったので、基本的には A 案の方向でまとめたい。
- ③ 回転遊具については安全性を懸念する声が多くあったので、できれば皆さん見ていただきたい。
- ④ 遊具の色等についてはこれから詰めていく。
- ⑤ 耐用年数とか安全性について懸念する声もあったが、今のところヨーロッパの基準も満たしているというよう
なことで、製品としては安全である。
- ⑥ 維持管理は 1 年に 1 回では不安だという意見。公園を見守っていくという活動の中で、行政も頑張るし、地
域としても見守っていくということでこれから体制を考えていきたい。

事務局

- ・前回の拡大協議会の後に、バスケットボールのゴールが欲しいというご意見があった。
- ・九段小の PTA の方で、具体の話が何かあれば。

委員

- ・コートではなく、ゴールだけつけて欲しいということ。以前あったことはあったので、もし検討できれば。

会長

- ・置く場所は取れるが、利用者が見ていること、夜中の問題もあり、難しいところもある。
- ・今の計画の中で、人の通る場所ではないところでそういうことができるかどうかということについて、事務局のほう
で検討いただきたい。

事務局

- ・設置場所等はこれから調整していきたい。クラブ活動なのか、遊びで使っているのか。どういう使われ方なのか
情報提供は頂きたい。

<次回日程について>

事務局

- ・次回は 10 月末か 11 月初め頃を予定している。第 1 火曜日は外したかたちで検討したい。決定後、開催通知
等にてお知らせする予定である。

閉会

以 上